

1. 科目名 (単位 数)	ソーシャルワーク I (4 単位)	3. 科目番号	SNMP2355 SSMP2155 PSMP2455 SCMP2355 SBMP2155
2. 授業担当教員	卯尾 章		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、歴史、理念、権利擁護の実際、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び倫理、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義について学ぶとともに、実践現場で活用するためのソーシャルワークの方法・技術を身に付ける。		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解し説明できる。</li> <li>・相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。</li> <li>・相談援助の理念について理解し、説明できる。</li> <li>・相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。</li> <li>・相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。</li> <li>・総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。</li> </ul>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート(配布プリント)は、数回提出を求めます。</li> <li>・確認テストを前半に1回予定、後半に総括テスト実施。</li> <li>・レポート課題：専門職倫理の必要性とソーシャルワーカーの倫理的ジレンマに関する実践の考察。（レポート形式については、授業で指示します）</li> </ul>		
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会『新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職』第 3 版 中央法規出版, 2015 年</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。</li> <li>2. 筆記試験とレポート試験を行う。60%</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解し、説明できる。</li> <li>2. 相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。</li> <li>3. 相談援助の理念について理解し、説明できる。</li> <li>4. 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。</li> <li>5. 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。</li> <li>6. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	講義内容に関心を持ち、教科書等だけでなく、新聞、TV、インターネット等で、現実にはどのような社会福祉問題が起きているのかを自ら情報収集し、その解決のためにどうすればよいかを自分なりに考えてください。わからない用語などは調べましょう。いつも積極的に問題意識をもち、授業に臨んでください。事前学習時に教科書を読み、ワークシート(配布プリント)の空欄に適語を入れ授業に臨んでください。		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) においてお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション ソーシャルワーク専門職の役割と意義	事前学習	教科書「はじめに」と pp. 2~7 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組み。
		事後学習	社会福祉士について理解を深める。
第 2 回	現代社会と地域生活の状況	事前学習	教科書 pp. 8~22 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組み。
		事後学習	現代社会の変化と地域生活の問題点について整理しておく。
第 3 回	ソーシャルワークの概念	事前学習	教科書 pp. 24~36 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組み。
		事後学習	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義について整理しておく。
第 4 回	ソーシャルワークの構成要素	事前学習	教科書 pp. 37~49 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組み。
		事後学習	4 つのソーシャルワークの構成要素について整理しておく。
第 5 回	ソーシャルワークの形成過程 ①源流	事前学習	教科書 pp. 52~60 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組み。

		事後学習	慈善組織協会、セツルメント等について要点をまとめておく。
第6回	ソーシャルワークの形成過程 ②基礎確立期	事前学習	教科書 pp. 61～67 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	1930年代までのソーシャルワークの基礎確立期について整理しておく(特にミルフォード会議、大恐慌の影響など)。
第7回	ソーシャルワークの形成過程 ③発展期～展開期	事前学習	教科書 pp. 70～85 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	医学モデル、生活モデルについて整理する。
第8回	ジェネラリスト・ソーシャルワーク	事前学習	教科書 pp. 86～91 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	ソーシャルワーク統合化について整理する。
第9回	ソーシャルワーカーと価値	事前学習	教科書 pp. 94～106 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	ソーシャルワーク専門職として身につける価値について整理しておく。
第10回	ソーシャルワーク実践と権利擁護	事前学習	教科書 pp. 107～120 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	権利擁護の態様について整理しておく。
第11回	クライアントの尊厳と自己決定	事前学習	教科書 pp. 122～128 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	エンパワメントとストレングス視点について整理しておく。
第12回	ノーマライゼーションと社会的包摂	事前学習	教科書 pp. 129～135 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	地域生活支援という視座について整理しておく。
第13回	ソーシャルワーカーの専門職倫理と倫理綱領	事前学習	教科書 pp. 138～147 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	ソーシャルワーカーの倫理綱領の意義と内容について整理しておく。
第14回	ソーシャルワーク実践における倫理綱領の活用	事前学習	教科書 pp. 148～149 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	実践における倫理綱領の活用について理解を深める。
第15回	前半(第1～14回)授業のまとめ 教科書の復習と整理・確認テスト	事前学習	学習した教科書、ワークシートと授業内容を確認整理しておく。
		事後学習	(第1～14回)授業の復習をして理解を深める。
第16回	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマ	事前学習	教科書 pp. 150～158 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	倫理的判断過程について整理しておく。
第17回	「総合的かつ包括的な相談援助」の動向とその背景 地域を基盤としたソーシャルワークの基本的視座	事前学習	教科書 pp. 160～168 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	基本的視座である4つのパラダイムシフトについて整理しておく。
第18回	地域を基盤としたソーシャルワークの八つの機能	事前学習	教科 pp. 169～174 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	個と地域の一体的支援について整理しておく。
第19回	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と基本的視点	事前学習	教科書 pp. 176～187 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	ジェネラリスト・ソーシャルワークの特質について整理しておく。
第20回	相談援助専門職の概念	事前学習	教科書 pp. 190～198 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	ソーシャルワークになぜ専門性が必要なのか整理しておく。
第21回	相談援助専門職の範囲	事前学習	教科書 pp. 199～206 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	相談援助専門職のさまざまな現場での役割について整理しておく。
第22回	諸外国の動向	事前学習	教科書 pp. 207～209 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	イギリス、アメリカ、スウェーデンの動向について整理しておく。

第23回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能 ①個と地域の一体的支援機能	事前学習	教科書 pp. 212～220 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	地域を基盤としたソーシャルワークについてポイントを整理する。
第24回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能 ②予防機能	事前学習	教科書 pp. 221～228 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	予防機能の位置づけについて整理しておく。
第25回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能 ③新しいニーズへの対応機能	事前学習	教科書 pp. 229～240 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	新しいニーズに対応するソーシャルワークの意義について整理しておく。
第26回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能 ④総合的支援機能	事前学習	教科書 pp. 241～249 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	総合的支援機能の必要性について整理をし、理解を深める。
第27回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能 ⑤多問題家族への支援	事前学習	教科書 pp. 250～259 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	家族システムへの支援について整理する。
第28回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能 ⑥権利擁護機能	事前学習	教科書 pp. 260～269 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	利用者の権利侵害の問題について考え、権利擁護システムの必要性について整理する。
第29回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能 ⑦社会資源開発機能	事前学習	教科書 pp. 270～275 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。
		事後学習	ソーシャルワーク実践における社会資源の特性について整理しておく。
第30回	後半(第16～29回)授業のまとめ 教科書の復習と整理 総括テスト	事前学習	学習した教科書、ワークシートと授業内容を確認整理しておく。
		事後学習	(第16～29回)授業の復習をして理解を深める。